

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	はるかぜファーム なないろ楽団		
○保護者評価実施期間	令和6年11月7日		～ 令和6年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	令和6年11月8日		～ 令和6年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月5日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムを職員同士で話し合い組んでいます。	季節に合わせた行事(バーベキュー、プール等)やイベント(動物園、電車に乗ろう等)、外出活動(農業体験、公園等)などを年間行事に取り入れています。またオンコトチャレンジミエキッズや芸術文化祭、七夕祭りなど地域で開催されているイベントに参加しています。他業所との交流(マルシェ等)も行っています。夏休みには学校でのプールの時間数が減ってきている中、安全管理を徹底した上で、プール活動を行っています。	それぞれの活動内容の写真を、定期的に保護者様にお伝えできるよう、SNS(Instagram)を活用していきます。子ども同士の関わりの中で、主体性を発揮できるよう支援していきます。また、地域のイベントへの参加についてさらに幅を広げ、放課後等デイサービスの認知を高めていくと共に、子どもたちの将来の夢や目標に繋がるようなたくさんの経験ができるよう支援していきます。
2	個別・集団・小集団での活動に取り組んでいます。	日々の活動は子どもたちが活動を楽しめるように支援しています。また、ニーズに合わせて個別活動(その子に合った個別活動)や小集団での活動(制作、ボール遊びなど)、集団(ハンカチ落とし、ボルタリングなど)を通して、多様な活動が出来るように支援しています。	学校授業日でも外出できるような活動を組んで楽しく過ごせるようにします。また利用者の興味や関心に応じた様々な活動をする事で、参加意欲を高めていきます。例えば、アート、音楽、スポーツなど、さまざまな分野の活動を取り入れていきます。
3	生活介護マネージャーと交流する機会を設けています。	年齢層の違う利用者との交流により、お互いに学び合い、理解を深めることで社会性やコミュニケーション能力を高められるよう工夫しています。	地域社会の活動と連携し、地域の行事やイベントに参加することによって、利用者の社会参加を促進するとともに、地域との交流も深めていきます。またこれらの取り組みを通じて、生活介護マネージャーとの交流がより実りあるものになり、利用者にとっても職員にとっても有意義な活動が実現できるように工夫していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会の場が少ないです。	保護者会や交流の運営に関して、職員がサポートする体制を整えることが難しいです。具体的には、企画や運営に関わる職員を決め、保護者の意見を反映させながら進めることが出来ていないと考えています。	定期的に保護者会を開催し、情報共有や意見交換の場を設けることで、保護者同士のつながりを促進していきます。オンラインでの開催も検討し、参加しやすい環境を整えていきます。事業所の活動や保護者会の情報を定期的にSNSで配信することで、保護者の関心を引き、参加を促していきます。
2	専門職による支援に課題があります。	作業療法士、言語聴覚士、心理的支援など専門職による直接支援が望ましいが、現段階では、確保することは難しいと考えています。	現在の職員に対して、基本的な知識や技術を学ぶ研修を行い、実践的なスキルを身につける機会を作って支援していきます。